

## モンゴル

2001年1～3月期の経済：マイナス材料が目立つ

2000年末から2001年頭にかけての雪害は上半期のモンゴル経済に大きなダメージを与えている。成体家畜の損失頭数が前年同期を超え、肉の価格が上昇し、皮革・毛皮製品の市場取引価格が下落し、失業者数の増加が見受けられる。さらには、鉱業部門の生産額が落ち込み、主要な輸出品目である鉱物性生産品の輸出額も減少するなどして、貿易赤字が拡大している。一方、プラスの材料としては、衣料品製造業など工業部門が好調であることと財政赤字の改善が挙げられる。

国内経済：工業部門は好調

前年同期と比較して、鉱業部門が 8.4%、工業部門が 6.2% 増となり、鉱業部門全体として 0.1% となった。鉱業部門の落ち込みを工業部門がカバーするというこれまでとは逆の現象である。鉱工業部門における主要な非鉄金属の生産量をみると、金が 74.7%、モリブデンが 27.8%、銅が 25.3%、螢石が 9.6%と落ち込んでいる。一方、工業部門は食品・飲料製造業が22.8%増、衣料品製造業が23.4%増と好調である。

2年連続の雪害となった牧畜業への影響は大きく、その「範囲」と「深度」の双方において前年を上回った。上半期で、全22行政区のうち前年よりも損失頭数が多かったのは17管区にのぼり、成体家畜の損失頭数は205万頭(前年同期よりも約2万頭増)である。損失頭数は、年初の家畜頭数の約6.8%に当たり、昨年より0.7ポイント上昇した。前回の雪害では、肉の生産量及び動物・動物性生産品の輸出額が大きく減少したが、今回の雪害ではこのような傾向が見受けられない。逆に、肉の生産量は前年同期の130倍、動物・動物性生産品の輸出額は19%増となっている。一方、動物・動物性生産品の輸入額は5倍となり、羊の肉の価格は昨年末比で63%の上昇、牛肉の価格は48%上昇となっている。

物価は昨年よりも早いペースで上昇しており、10.4%の

インフレ率となっている。食料品の価格は昨年末と比較して19.8%の上昇となっている。肉製品は51.5%、乳製品が25.5%、ポテト及び野菜類が20.1%の上昇である。食料品以外に目立つ物価の上昇としては電気料金の30.7%である。羊の皮、カシミア等の皮革・毛皮製品の市場取引価格は、前年同期より低くなっている。

失業者数は3月末で4万2千人となり、前年3月末比で約2千人増、前年末比では3千4百人増となっている。特にこの上半期の新規失業登録者数は8,262人であり、前年と比較すると2倍の数である。しかし、鉱工業部門の就業者数は前年3月末と比較すると20%増である。特に目立つのは、鉱物採掘部門の17%増、衣料品製造業部門の約2倍増である。

国家財政は、所得税及び海外からの援助金等が増えたことにより歳入が36.8%増、歳出は地方政府への交付金等が減少したことにより 4.7%。財政赤字は改善された。

対外経済：貿易赤字は拡大

貿易は、輸出が減少したものの輸入が増加したことにより、総額では1.7%の微増となった。輸出額が6,810万米ドルで 5%、輸入額が1億310万米ドルで6.6%の増加となり、貿易収支は3,500万米ドルの赤字となった。前年同期比で貿易赤字が1,000万米ドルの増加である。金額ベースによる主要な輸出品目の動向は、皮革・毛皮製品が 79%、鉱物性生産品が 12%となる一方、動物及び動物性生産品が19%増、繊維・繊維製品が111%増となっている。主要な輸入品目の動向としては、鉱物性生産品が40%増、輸送機器・同関連品が6.7%増となる一方、機械類・電気機器は19.2%となっている。北東アジア諸国との貿易動向をみると、輸出額では、中国が 32%、ロシアが90%増、日本が52%、韓国が91%増となっている。輸入では、中国が2%増、ロシアが28%増、日本が 46%、韓国が29%増となっている。

(ERINA調査研究部研究員 浜田充)

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	01年1-3月
鉱工業生産額(前年同期比:%)	2.5	4.4	3.2	1.3	2.4	0.1
消費者物価上昇率(対前年比:%)	44.6	20.5	6.0	10.0	8.1	10.4
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	1,241.4	1,204.0	1,273.6	1,346.3	1,457.5	426.9
失業者(千人)	55.4	63.7	49.8	40.1	38.6	41.9
対ドル為替レート(トグリク、期末)	693.5	813.2	902.0	1,072.4	1,097.0	1,097.0
貿易収支(百万USDドル)	26.6	16.8	158.1	154.5	141.9	35.0
輸出(百万USDドル)	424.3	451.5	345.2	358.3	432.3	68.1
輸入(百万USDドル)	450.9	468.3	503.3	512.8	574.2	103.1
国家財政収支(十億トグリク)	48.3	65.1	97.5	85.0	62.7	5.9

(注)失業者数は期末値。消費者物価上昇率は各年12月、2001年は各期末値。貨物輸送、財政収支は年初からの累積値。  
(出所) モンゴル国家統計局、「モンゴル統計年鑑1999」、「モンゴル統計月報2001.3」